



絵日記と創作人形による

ぽかぽか 山里暮らし



夫：宮崎利一<山里暮らし絵日記>



春夏秋冬 桜桜桜

今回は少しロマンチックにせまってみよう
と思ひ。吉野は桜の名所。春になるとこ
ろ中に桜が咲くは、咲いては、散る。
ピンクで来らぬ花びらは女性的でありな
が、散り際のはときは男性的なのに妙
に夢はかなさを感じ。その風にあかれ
て散る桜の花のなつかしさを思いこみ。
そんな春の桜も好きだが「秋桜」と書い
てこそ大好き。私はアジサイとコスモ
スが大好きである。秋になると我が家の庭
は、コスモス一面うめ尽くされる。それは
見事なほど美しい。高見山をバックに風に揺
られて咲くコスモスを見て、いかに無情の幸
せを感じる。

それから、昨年十一月に初めて
「冬桜」というものに出会った。雪がちら
ちら降る杉の木立を背景にして、真っ赤に
色づいた紅葉のそばに、緑色をした桜が浮
き彫りになって、木あてやかに咲いているの
を見た時は幻想的というか妖艶というの
か、言葉では言えない。光景であった。そ
れが冬に咲く「冬桜」と呼ばれていた。
そして、今年に入ってから、杉の葉に積った雪
を見て、いかに寒風が吹り過るとも思
う。冬桜の粉が風に舞いながら散った。あつて桜
が散っている。そうっついで、また、桜
が散る。桜の花びらのようであった。それが、
しが念名した「冬桜」である。
詩人だなあ。今年もこの満ちて人は
つみこうと思ふ。

通勤
山里暮らし絵日記
⑤

日本の原風景を求め、神戸から
東吉野村に移り住んで早10年目。
大自然の中で畑を耕し、
愛する犬やネコに囲まれ、
創作人形づくりに励んでいる妻、宮崎成子と、
大阪のデザイン事務所に通勤しながら
田舎暮らしを満喫し、村の広報誌に、
毎月『通勤山里暮らし絵日記』を、
投稿し続けて7年目になる夫、宮崎利一。
私たち二人がそれぞれ、
東吉野の素晴らしい自然の中で制作した、
『創作人形』の数々と、
『山里暮らし絵日記』を展示。

妻：宮崎成子<創作人形>



奈良県立図書情報館
Nara Prefectural Library & Information Center
〒630-8135 奈良市大安寺西1丁目1000番地
TEL.0742-34-2111(代表) FAX.0742-34-2777
http://www.library.pref.nara.jp

日時 2008年4月1日(火)~13日(日)
[(月)休館] AM9:00~PM8:00
場所 2階メインエントランスホール
主催：宮崎利一・宮崎成子・奈良県立図書情報館

